

小樽 浪漫館

- 物件名：小樽 浪漫館
- 住所：堺町1-25
- 電話：31-6566
- 所有者：株式会社タンザワ
- 運営者：丹沢大一(代表取締役)
- 主任と人員：千葉玲子(店長) 9人
- 建物履歴：
 - 明治41年 百十三銀行小樽支店として創建
 - 昭和中期 株式会社フジモリ
 - 昭和後期 千秋庵
 - 昭和60年 小樽市歴史的建造物指定
 - 平成15年 小樽 浪漫館開館

■外観

角部分を通りに沿って斜めに入口にした特徴的な建物。

- ①街灯とブラケット
建物に合うように街灯とブラケットを設置
- ②アプローチ
入口までのアプローチに石段整備
- ③屋根
すがもりの度に瓦屋根修復
- ④併設館
売り場確保のために同一デザインで吹き抜けの新築を併設
- ⑤路地
カフェまでの路地にベンチや街灯、石畳を整備。

■内観

- ①梁 鉄骨で補強
- ②碇子引き配線
生きてはいないがそのままインテリアとして残す
- ③壁 漆喰壁
- ④床 新たに床を木張りで整備
- ⑤新築物件
カフェと売り場を確保し、本館と同様の内装に整備

■内容

平成6年4月29日に現小樽オルゴール堂本館にアクセサリー売店「銀星館」を開店、平成10年4月24日に「石の蔵」を堺町に開店、そして平成15年に「小樽 浪漫館」開館。山梨県に本社をおく株式会社タンザワは宝飾メーカーであり、自社製品を自社販売するビジネス展開を心掛け、新興の観光地である小樽への積極的展開を図る。浪漫館では自社製品がアクセサリーの80%を占めている。

■コンセプト

多くのお客様は建物の偉容さに興味を持って入館することから、スタッフには建物の説明ができるように徹底。

■客層

カフェには地元も来店するが、売り場はほぼ100%が観光客。そのうち35%が外国人。



外観



エントランス石段が重厚



新築の部分



商品内容と天井空間が小樽的



新館の店内も違和感がない



床材の素朴さが見事



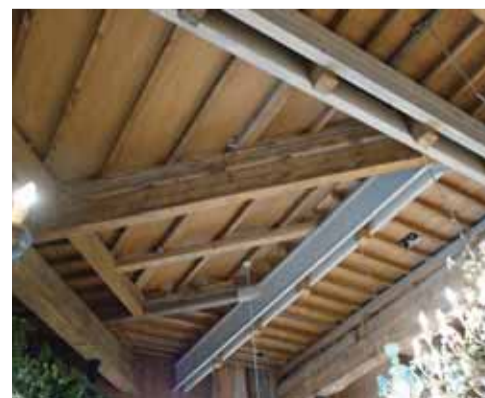
碇子引き配線の天井



カフェの雰囲気も和む



カフェへのアプローチもエキゾチック



鉄骨補強



吹き抜けの梁と天井